



さくら 2018春

発行
社会福祉法人 東桜会
第60号
〒420-0962
静岡県葵区東 527 番地の 1
TEL 054(247)8739
FAX 054(247)8640

麻機園は開園 30 周年

昭和の終わり昭和63年4月1日に麻機園は開園しました。旧静岡市内では晃の園と共に6番目の特養として開園しました。

開園当初は老人福祉法による措置施設としての運営で、入所50名、ショートステイ4名の定員で、職員は全部で26人、この中には厨房の調理員も含んでいたため、介護職員は確か13人だったと思います。ですから、入浴日や食事の介助では職員総動員で入所者のお世話に当たっていたことを思い出します。とはいえ、入所者の状況は今のように入所者の介護度が高い人ばかりではなく、自分で歩き、自分でトイレに行き、自分で入浴できる入所者もいらっしゃいました。

開園日には早速午後から女性が3人、男性が2人入所しました。ふくさん、せんさん、よしのさん、義男さん、時次郎さん。ふくさんとせんさんは余り相性がよくないようで、あるときには持っていた杖で廊下でちゃんばらを始めた事等もありましたが、今となっては楽しい思い出の一つになってしまいました。

その年の10月からはデイサービス事業が始まり、職員の数も増え日中は園内が賑わいました。

その後は特養の機械浴を使つての施設入浴事業、在宅介護支援センターの開設、ホームヘルパー事業の開始、隣接地にケアハウス桜花の開設、静岡市有永グループホームの受託運営等様々な事業を展開し、特養の建物も3階を増築して定員も今のように入所80名、ショートステイ20名となり、職員の人数も開園当初の3倍以上になりました。

お年寄りの措置施設から入所者との直接契約による介護保険の入所施設になり、今では要介護度3以上の入所要件になり、措置時代のような元気なお年よりは少なくなりましたが、それでも毎日入所者の皆さんと楽しく麻機園の生活(仕事)を楽しんでいます。



麻機園 園長 秋山 通

☆ 「開園記念日」 ☆ ケアハウス「桜花」



今年は桜も満開。まさに春たけなわの中、21回目の開園記念日を迎えました。恒例の昼食会を施設長の乾杯の音頭で始めました。ジュースやビールを飲みながら、お祝い膳を楽しみつつおしゃべりに花を咲かせていました。食欲を満たした後はお楽しみ会です。今年は麻機園開園30周年記念として職員による宴芸会が開かれ、桜花職員も参加しました。せっかくだからと、桜花入居者にも披露しました。唱歌「故郷」の歌詞に合わせた仮装大賞と手遊びですが、寸劇で普段の職員と違う姿に入居者は驚くやら笑うやら。コミカルな演技に温かい拍手を職員にいただきました。そして皆一緒にふるさとを歌いながら手遊びを行い、楽しい開園記念日を過ごしていただきました。今年度も皆さん楽しく過ごしましょうね。

ケアハウス桜花 寮母 佐藤尚哉

デイサービス通信

～我らの人生これからだ～



4月1日にお楽しみ宴芸会で看護師デイサービス職員チームは「きよしのズンドコ節」を踊りました。参加者の皆さんに「人生」「元気」「笑顔」「感謝」と掛け声をかけていただきました。今年度も「感謝の思いを大切に、笑顔と元気で、利用者の皆さんの人生に彩りを」添えられるように、デイサービス職員一同頑張ります！

麻機園デイサービス 生活相談員 望月昭子

開園記念日 おたのしみ宴芸会



4月1日の開園記念式典の後に入所者が集まり、30周年お楽しみ宴芸会を開きました。行事担当の中から選抜された二人が、ピエロに変装して司会を務めさせて頂きました。

30周年という大きな節目のお祝いに司会・進行という大役を頂き、とても緊張しながらも“盛り上げていくぞー”と気合いを入れて取り組みました。

今回は東桜会全体でお祝いのお場を盛り上げようという事で、すべての部署職員からの出演があり、事務所からはキャンディーズと組み体操、看護師とデイサービス職員からは氷川きよしのズンドコ節、桜花からは仮装大賞と手遊び、寮母からはダンスチャッキー節と各部署が宴芸を披露しました。

入所者の皆様は、馴染みの職員たちが演し物をしている事、特に事務所の方々が普段体を動かしている姿を見る事が少ない為、キャンディーズを踊ったり、機敏に組み体操をして園長までもピラミッドのてっぺんに登った姿が印象的だった様です。会場では笑顔で拍手をしてくれたり、知っている職員の名前を呼んでくれたりと、やんややんやの喝采に包まれていました。

とても楽しく30年をお祝いでき、31年目の新たなスタートを切ることができました。これから更に40年、50年と麻機園の発展を目指し、気持ち新たに入所者の支援に務めていきます。



麻機園 寮母 佐藤沙織、小泉綾乃